

〔政事要略二十五年中行事〕藏人式云初亥日內藏寮進殿上男女房料餅各一

内藏所進餅已見人給料但又大炊寮出渡糯米內膳司備調供御雖不載式文寮司供來尙矣

折櫃

群忌隆集云十月亥日食餅除萬病雜五行書云十月亥日食餅令人無病亥日之餅本緣如其說未詳敬之詞

此月之詞未詳其說

〔東宮年中行事十月〕の日亥ゆせんけむもちひをくうすること

この月のひごとにこれをたてまつるうねべ大ばん所にまるりてとりつたへたてまつりあぐ又殿上にもすゑたり

〔年中行事秘抄十月〕上亥日内藏進餅事殿上并女房

亥子餅事或記云盛朱漆盤立紙四枚居御臺一本上女房取之供朝餉次召藏人所鐵臼入其上分

擣令爲猪子形以錦裹之插於夜御殿帳疊四角但臺盤所殿上料内藏寮進

大外記賴業勸申云十月亥日餅事○又見政事要略卷二十五

大外記師尙勸申云亥子餅事群忌隆集云十月亥日食餅除萬病齊民要術云十月亥日食餅令人無病本朝月令云雜五行書曰十月亥日食餅令人無病右亥日餅本緣如此奉供事藏人方沙汰候歟外記不知也但内藏寮進殿上男女房料餅各一以柳臼杵等於朝餉方令春御云々仍言上如件

御膳宿申云内膳司供之即於御膳宿盛朱漆盤四坯立紙居御盤自大盤所傳供之或加畫御膳供之

承安四年

〔建武年中行事〕十月略中亥のこはくられよりまいあさがれゐにてまいらす

〔公事根源十月〕亥子餅

上亥日

此餅は内藏寮よりそなへ奉る朝餉にてきこしめす十月の亥日餅を食すれば病なしといふ本説あり此事いつ比よりはじまるともみえず延喜式に載たれば往古よりはやありける事な